

⑤ 進行管理と評価・改善の仕組み

1. 事業推進と進行管理の考え方

箕面市総合都市交通戦略における総合交通計画及び個別の戦略実施プログラムについては、分野をまたいだ多様な事業で構成され、実施主体や実施時期も様々なことから、関係機関で連携を図りながら、戦略の着実な推進と適正な進行管理が重要となる。

また、事業期間も複数年にわたり、社会情勢の変化やそれに伴う市民の価値観の変化に柔軟に対応する必要があることから、横断的な事業の推進や変化に応じた新たな施策の提案などを行うとともに、データ収集や調査によって、戦略実施プログラムの計画期間とあわせて、目標達成状況の確認及び必要に応じた計画・目標の見直しを行っていく推進・進行管理体制を構築することが重要となる。

2. 推進・進行管理体制

戦略実施プログラムを着実に実行するためには、交通事業者、市民・企業、行政等の関係者が連携して取り組むことが必要である。

そのため、年度ごとの事業推進について、本戦略の策定主体である箕面市で、関係者と連携を図り、事業の進行状況を把握するとともに、必要に応じて関係者間で進捗調整や情報交換を行う。

3. 評価改善システムの確立

3.1 評価・改善の体制構築

箕面市では、戦略施策に対する多様な主体（市民、交通事業者、行政等）からの評価や意見を取り入れた効果的な戦略施策の推進を図るため、次のような評価体制として協議会を構築し、実施プログラムの前期、後期の最終年で評価して、施策の推進、改善に取り組むものとする。

また、前期及び後期の中間においても評価して施策の推進につなげることを検討するものとする。

開催する協議会については、現在の箕面市都市交通戦略検討協議会をもとに、行政（都道府県、市町村）、道路管理者、警察、交通事業者、地元団体、関係者等をメンバーとして、あらためて設置するものとする。

メンバーのうち、地元団体としては、NPO、商業者等に参画を予定する。また、関係者としては、学識経験者、タクシー協会、運転し団体の参画を予定する。

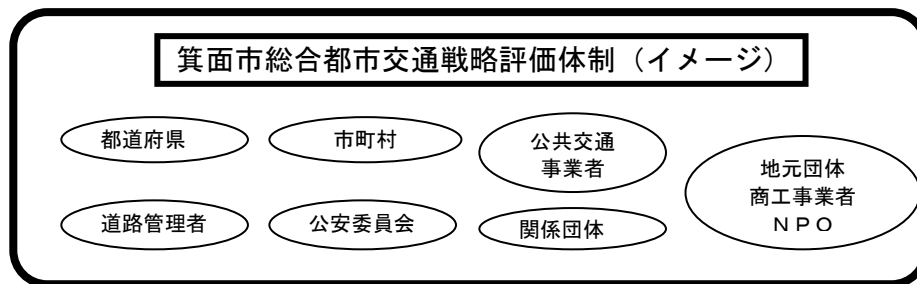


図 評価体制のイメージ

3.2 PDCAサイクルによる施策の評価・改善

箕面市では、社会・経済情勢の変化や市民の価値観の変化に柔軟に対応した戦略施策の実施を進めるため、以下のようなPDCAサイクルを構築する。

【進行管理の流れ】

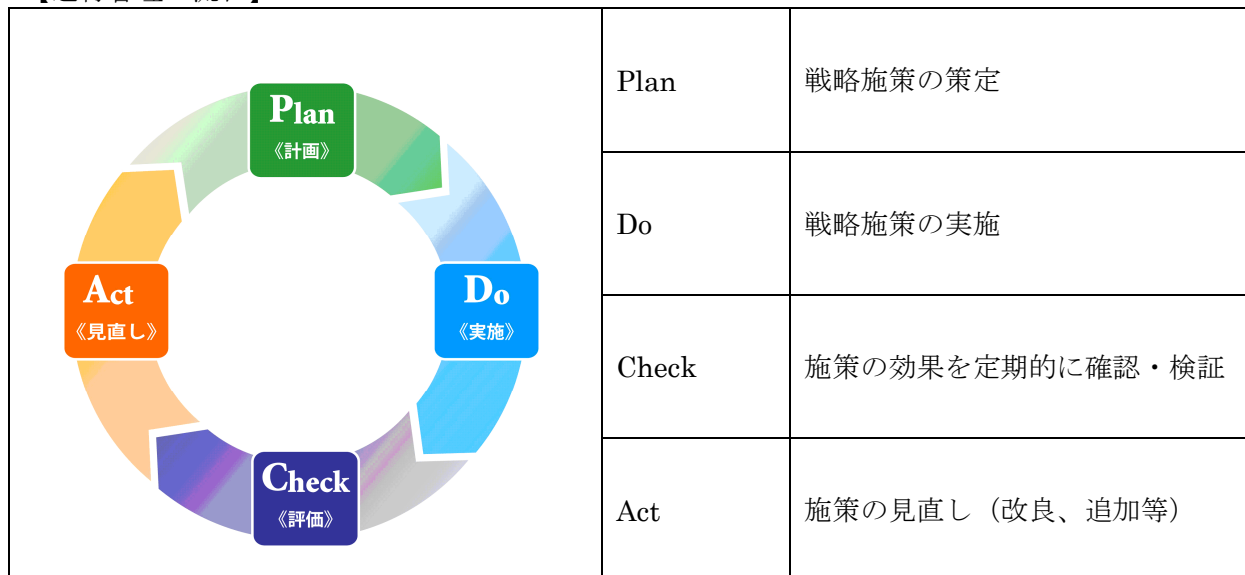


図 PDCAサイクルのイメージ